JOB No. 08

生活に支援が必要な方の介助
一人ひとりに合わせた生活サポート

ケアワーカー

この仕事のキーワード

- □ 身体介護
- □ 生活援助
- □ コミュニケーション
- □ 観察力
- □ 多職種連携

こんな人に向いています

- □ 人と話すことが好き
- □ コミュニケーションが好き
- □ 変化に気づける
- □ 責任感がある
- □ 感謝の気持ちを持てる

▶▶ 職場ではこんな人も働いています

● 医師 ● 看護師 ● リハビリ職 ● 相談員（社会福祉士・居宅介護支援専門員） ● 介護福祉士 ● 薬剤師 ● 管理栄養士 ● 歯科衛生士 ● 医療事務 ● 調理師 ● 保育士 ● 日本語教員 ● 事務職



地域課題の最前線で 人の「暮らし」を守り抜く

ケアワーカーは、人の「毎日」を支える仕事です。食べる、歩く、眠る、笑うなど、当たり前の毎日をその人らしく過ごせるように支えます。医師や看護師と協力し、体の変化だけでなく、一人ひとりの気持ちにも寄り添います。AIやロボットが進化しても、相手の気持ちを感じ取り、その人に合った支え方を考えることは人にしかできません。テクノロジーと人の力を組み合わせ、誰かの「できた！」や笑顔を生み出す、未来の社会に欠かせない仕事です。私たちと一緒に解決しませんか？

CHECK

私がこの仕事に就いたきっかけ

家族にケアワーカーがいて、身近で介護の仕事を見る機会がありました。祖父母に声をかけながら身の回りのことを手伝い、相手の気持ちに寄り添う姿を見て、人を支える仕事のすごさを感じました。自分も誰かの力になれる人になりたいと思い、この仕事を目指しました。

入職16年目　岡田さん



ケアワーカーの仕事内容

食事・服薬のサポート

食事では体調や食欲を確認し、むせ込みを防ぐため姿勢を整え、本人のペースに合わせて介助します。服薬時は薬の種類・時間・量を声に出して確認します。



身の回りの支援

ご自分でできることはしてもらい、手伝いすぎないように配慮しながら、入浴や着替えなどの身の回りのお手伝いをします。本人の気持ちを尊重しながら介助します。



掃除・洗濯

掃除では生活習慣や希望を確認し、物の位置を勝手に変えないよう注意します。洗濯では衣類の素材や表示、プライバシーにも配慮します。

買い物・調理

買い物では希望や予算、代替品を事前に確認します。調理では食事制限やアレルギー、食べやすさや衛生面に注意し、本人の好みに合わせます。





医師・看護師・リハビリ専門職と連携して
チーム医療・介護を支える中心メンバー

CHECK



必要な資格・スキル

資格がなくても働きながら取得可能。
初任者研修→実務者研修→介護福祉士（国家資格）。
その先にはケアマネジャーや管理者などのキャリアも広がります。
あなたの「得意」が誰かを支える力になります。
・人と話すのが好き ・誰かに喜ばれると嬉しい
・困っている人を助けたい ・人の話を聞くのが好き
・小さな変化によく気付く ・仲間と協力するのが好き

地域とともに、あなたと生きる

青藍会グループ

山口市吉敷中東1-1-1　TEL／083-933-6000
創業／1922年2月　従業員数／1,414名（2026年10月1日現在）
本部／グループ本部（山口市）、東京本部、福岡本部



青藍会グループ　HP　Instagram

会社見学OK　職場体験OK　出張授業OK

青藍会グループではこんな仕事をしています

人の一生に、ずっと寄り添う。
医療・福祉から、暮らしや仕事まで。地域の「生きる」を支えるグループです。





ヘルスケア（健康と暮らしを支える）

クリニックでの診療や健康診断、訪問看護や薬局での調剤、様々な介護支援など、幅広い事業で利用者の皆さんの健康や生活を支えています。医師、看護師、薬剤師、介護士など、多くの職種が協力して利用者の皆さんを支える多職種連携も特徴の一つです。保育園や児童クラブの運営、障がいを持つお子さんや大人の方に向けた支援なども行っています。





ヘルスケアサポート（毎日の生活をもっと豊かにする）

高齢の方に向けた住宅や、障がいを持つ方の就労支援としても活用されている農園、フィットネスジムの運営などを通して、健康や暮らしを間接的に支えています。





ヒューマンリソース（学ぶ・働くを支える）

看護・介護・保育などに関する研修の実施や、日本語学校の運営、医療・介護の知識を持つスタッフによる職場探しのサポートなどを通して、人材の育成支援を行っています。

多くの専門職が連携し、地域の暮らしを支える

私たちは、医療・保健・福祉の分野で、地域の方々の健康と暮らしを生涯にわたって支えています。幅広い診療に対するクリニックが、専門性を活かした診療を行い、医師、看護師、薬剤師、リハビリ職、管理栄養士、介護福祉士などが連携。新生児から高齢の方がお亡くなりになるまで、住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、チーム医療で支えています。



